

がん検診があなたの命を守ります

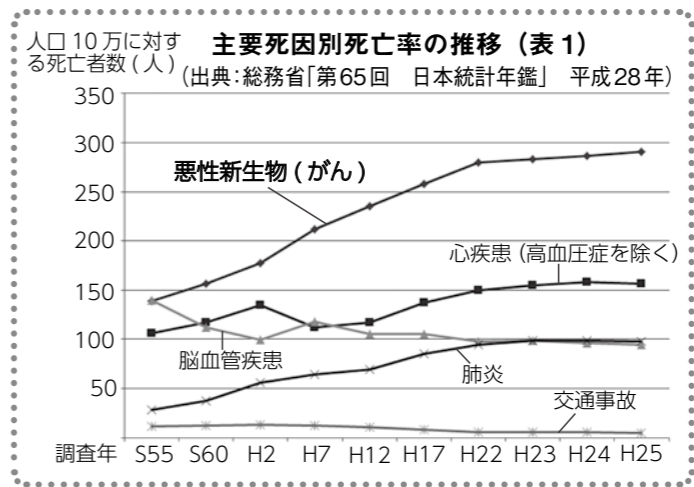
日本人の死因第1位は、「がん」です。しかし、現在では、早期発見できれば、決して怖い病気ではありません。そのためには「がん検診」の定期受診がとても重要です。自分と家族のために、進んでがん検診を受診しましょう。

3人に1人が「がん」で死亡しています

日本人の死因第1位は、「がん」です（表1）。国立がん研究センターの調査（平成26年）によると、日本人の2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで死亡しています。がんは、とても身近な病気です。特に50代から、がんにかかる確率が高くなります。

がんを早期に見つけたとき、進行後に発見したときでは、その後の生存率が大きく異なります（表2）。胃がんを早期発見したときの生存率は、進行後に発見したときの13・5倍となり、治療の確率が格段に上がるといえます。

「特に症状がないから」と、がん検診を必要に思わない方もいるかもしれませんが、初期のがんには、ほとんど自覚症状がなく、症状が出たときには、既に進行していて、治療の難しいケースがあります。早期発見のためには、定期的ながん検診の受診がとても大切です。



市の「がん検診」をご存知ですか
市の総合保健センターで実施する集団健診は、待ち時間短縮のため、30分ごとの時間予約制をとっています。また、早朝や土日検診の設定もあり、女性専用の検診日

がん発見のタイミングによる生存率の違い(表2)
(出典:「全がん協部位別臨床病期別5年相対生存率」平成16年~平成19年診断症例)

がんの種類	①進行後に発見したときの生存率	②早期に発見したときの生存率
胃がん	7.2%	97.2%
肺がん	4.9%	82.9%
大腸がん	18.1%	99.0%
前立腺がん	62.0%	100.0%
子宮頸がん	21.8%	92.3%
乳がん	32.6%	99.9%

※5年相対生存率とは、診断から治療後5年経過したときに生存している割合のこと。治療の目安となる。※①は、がんが最も進行した「ステージⅣ」の段階で、②は、初期の「ステージⅠ」の段階。

市のがん検診について(表3)

検診の種類	対象	内容
胃がん検診(バリウム検査)	40歳以上	バリウムを飲んでレントゲン撮影
胃がん検診(内視鏡検査)	50歳以上で奇数月生まれ(平成29年度)	胃内視鏡で胃の内部を観察
肺がん検診	40歳以上	胸のレントゲン撮影
大腸がん検診	40歳以上	受診前2日分の便を検査
前立腺がん検診	50歳以上の男性	血液検査
子宮がん検診	20歳以上で奇数月生まれの女性(平成29年度)	めん棒で採取した子宮口の細胞を検査
乳がん検診	40歳以上で奇数月生まれの女性(平成29年度)	マンモグラフィ検査と視触診



6月1日から胃内視鏡による胃がん検診が始まります

厚生労働省は、平成28年に「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」を改正し、市町村が行う胃がん検診として、従来のバリウム検査だけでなく、胃内視鏡検査も推奨することとしました。これは、近年の研究で、胃がんの死亡率が胃内視鏡検査により減少すると科学的に証明されたためです。この指針に基づき、胃内視鏡検査による胃がん検診を導入するため、「千歳市胃内視鏡検診運営委員会」を立ち上げました。

今回、市が導入する胃内視鏡検診では、医師の主観を排除し、より正確な診断をするため、2人の医師によるダブルチェック体制で検査結果を判断します。また、検診医などは運営委員会が定めた基準を満たす医師のみが認定され、さらに定期的な研修会などで技量の向上と均一化を図ります。

がん治療で最も大切なのは早期発見です。胃内視鏡検査でがんを早期発見できれば、お腹を切らずにがんを切除することも可能です。ぜひこの機会に検診を受けてください。



50歳以上の方は、2年に1回、胃内視鏡による胃がん検診を受診できます
【対象】昭和43年3月31日以前に生まれた方(平成29年度は奇数月生まれの方)
【受診頻度】2年に1回
※胃内視鏡検診を受けたときは、市の胃がん検診(バリウム検査を含む)は、2年後まで受けることができません。
【申込方法】市内指定医療機関へ

※市の国民健康保険加入者の方は、2700円。
※70歳以上の方▼65歳から69歳までで障がい4級以上の認定を受けた方
▼生活保護世帯の方(「保護受給証明証」を持参)▼市民税非課税世帯の方(検診時に「市道民税 所得・課税証明書」を持参)は、無料です。

千歳市胃内視鏡検診運営委員会 委員長
おおくぼ ひし 医師
大久保 尚 医師
(千歳駅北クリニック院長)
に聞きました



バリウム検査と胃内視鏡検査の違い

バリウム検査、胃内視鏡検査ともに胃がんの死亡率を下げる効果があります。バリウム検査では、造影剤のバリウムを飲んで胃粘膜に付着させ、レントゲン撮影をし、医師が撮影した画像を見て、粘膜の形状から診断します。胃内視鏡検査は、カメラのついた細長い管を口または鼻から挿入し、直接胃の粘膜を観察する方法で、ごく初期の胃がんも発見できます。

胃内視鏡検診を実施する市内指定医療機関

医療機関名	電話番号	住所
尾谷病院	☎(24)5121	新富2丁目5-5
市民病院(※)	☎(24)3000	北光2丁目1-1
千歳インター消化器・内科	☎(25)5541	本町4丁目2-2
千歳駅北クリニック	☎(27)8000	末広4丁目8-10-2
千歳しなの内科	☎(40)7140	信濃2丁目1 しなのビル2階
千歳第一病院	☎(23)4111	東雲町1丁目11
三上内科呼吸器科クリニック	☎(40)0350	東郊1丁目4-18 東郊メディカルビル1階

※平成30年1月から開始。毎週火曜日のみ実施(人数制限あり)。

この記事の問い合わせ

市民健康課 市民健康係
☎(24)0364 ☎(24)8418

がん検診の問い合わせ・申込先

健診申込専用ダイヤル
☎(24)0617